

ホームページでもIR情報を公開しています。

当社の情報をスピーディーにご提供するために、ホームページを開設しております。

「最新機種紹介」「社長プレゼンテーション」等もあり、投資家の皆様への情報も充実させておりますので、ぜひご覧ください。



「新機種紹介」「製品情報」「会社概要」「IR情報」「リクルート」のコンテンツをご案内しています。

●新機種紹介



●製品情報



●会社概要



●IR情報



●リクルート



●プレスリリース



●財務情報



●IRカレンダー



●FAQ



タイヨーエレクトロニクス株式会社

名古屋市西区見寄町125番地 TEL052-502-9222 (代)
<http://www.taiyoelec.co.jp/>

第35期中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

TAIYO ELEC



タイヨーエレクトロニクス株式会社

JASDAQ
証券コード：6429

株主・投資家の皆様へ

当中間期のわが国経済は、企業収益の拡大を背景に民間設備投資や雇用環境にも改善が見られ、個人消費も堅調に推移するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、原油等の原材料価格の高騰やサブプライムローン問題に端を発した世界の金融市場の動揺など、世界経済の下振れリスクが払拭されず景気の先行きに不透明感が増しており、必ずしも楽観視できない状況にあります。

遊技機業界におきましては、レジャーの多様化によりプレイヤー人口が引き続き減少傾向にある中、遊技機ホール間による競争激化が続いておりますが、当中間期はパチスロ機の規則改正に伴う新基準機への入れ替えに多額の資金を要したことなどから、これを契機に遊技機ホール様の店舗政策にも格差が表面化し、さらに店舗数が減少する傾向にあります。また、このような市場環境の中、遊技機メーカーが市場投入する機種数は増加し、遊技機ホール様の遊技機を選別するハードルが高くなったことにより、遊技機メーカー間の販売競争も激しくなっております。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を取り入れたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、引き続きクオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

パチンコ機につきましては、新機種として「CRハムナプトラ」（平成19年5月発売）、「CRそれゆけエリちゃん」（平成19年8月発売）の2機種を販売する一方、導入された遊技機ホール様等から非常に高い評価をいただきました「CR機動新撰組 萌えよ剣」（平成19年1月発売）の追加需要を掘り起こすなど売れ筋商品を中心に販売しました。また、パチスロ機入れ替え需要に対応するため、パチスロ機の販売に注力したことにより、当初上期に発売を予定しておりました2機種の発売時期を販売戦略上下期に変更することとしたため、パチンコ機の当中間期販売台数は、26,577台（対前年同期比7,889台増）、売上高は、67億7百万円（対前年同期比29億78百万円増）となりました。

パチスロ機につきましては、当社の新基準機第2弾としてパチスロファンの皆様お待ち望んでいたゲーム性を実現化させた「マーベルヒーローズ」（平成19年6月発売）を販売しました結果、売上高は計画を上回ることとなりました。以上により、パチスロ機の当中間期販売台数は、12,926台（対前年同期比12,926台増）、売上高は、44億2百万円（対前年同期比44億2百万円増）となりました。

以上の結果、当中間期の売上高は111億47百万円（対前年同期比74億10百万円増）と前中間期を大幅に上回りました。

また、利益面につきましては、引き続き利益率の低い新台の販売比率が高くなったことにより、利益率は計画を下回ることとなりました。



代表取締役社長

佐藤 英理子

また、経費の効率化に努めましたが、研究開発費については、今後の開発競争の更なる激化が予想される中、いち早くニーズを取り入れることが最重要との考えから、計画通り積極的にパチンコ機とパチスロ機の同時開発を行いました結果、経常利益3億98百万円（対前年同期比15億45百万円増）、中間純利益2億82百万円（対前年同期比14億65百万円増）となりました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、遊技機市場を取り巻く経営環境はさらに厳しくなると予想されます。パチスロ機においては、遊技機ホール様において新規則機が新たなファン層の獲得が進んでいないことから、遊技機ホール様は新規則機の導入に対して慎重になるとともに、パチスロ機からパチンコ機への運用に軸足をシフトすることが予想されます。パチンコ機においては、液晶の大型化、大型版權の使用料、広告宣伝費等のコストアップにより、遊技機の価格が上昇傾向にあり、遊技機ホール様の経営に大きな影響を与えるとともに、遊技機メーカー間の競争激化がさらに進むものと予想されます。

このような経営環境が予想される中、当社は、パチンコ機における販売拡大の好機ととらえ、当初計画における新機種販売のタイミングを一部下期に変更することにより、連続的に市場投入してまいります。また、当中間期まで新台を中心に販売してまいりましたが、当中間期以降において徐々に枠の普及効果があらわれ面替の比率が高まることにより利益率が高くなることを考えております。なお、パチスロ機につきましては、新規則機の販売に引き続き努めてまいります。

以上の結果、通期見通しにつきましては、当初計画通り売上高243億80百万円、営業利益12億30百万円、経常利益11億80百万円、当期純利益8億50百万円を予想しております。

当社は、企業価値を高めながら、株主の皆様利益還元を図ることを経営の重要課題と認識しております。利益配分につきましては、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定した配当を継続していくことを基本方針とするとともに、現在および将来の業績動向をベースに、財務状況や配当性向などを総合的に勘案しながら実施していきたいと考えております。

当社では、このような方針のもと当期は期末配当予想額として、1株当たり4円を予定しております。

経営の基本方針

当社は、「常にバイオニア精神を持ちつづけ、ゆるぎなきアイデアと開発力を駆使し、エンターテインメントとしての商品づくりを通して、明るく豊かな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、様々なスタンスから娯楽を研究、熟知し、パチンコ・アレパチ・パチスロファンおよび遊技場のニーズを常に先取りした斬新かつ優れた製品をお客さまに提供し、健全なレジャー産業の発展に寄与することを通して社会に貢献することを経営の基本方針としております。

●中間貸借対照表 (単位 / 百万円)

科 目	第34期中間期 平成18年9月30日現在	第35期中間期 平成19年9月30日現在	第34期 平成19年3月31日現在
資産の部			
流動資産	7,921	13,166	13,946
固定資産	4,193	3,671	3,976
有形固定資産	3,131	2,702	2,955
無形固定資産	43	33	37
投資その他の資産	1,019	935	982
資産合計	12,115	16,838	17,922
負債の部			
流動負債	7,654	10,339	11,628
固定負債	2,407	935	979
負債合計	10,061	11,275	12,607
純資産の部			
株主資本	1,922	5,489	5,207
資本金	1,000	2,881	2,881
資本剰余金	1,042	2,917	2,917
利益剰余金	△118	△307	△589
自己株式	△1	△1	△1
評価・換算差額等	130	73	108
その他有価証券評価差額金	130	73	108
純資産合計	2,053	5,563	5,315
負債・純資産合計	12,115	16,838	17,922

●中間損益計算書 (単位 / 百万円)

科 目	第34期中間期 自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日	第35期中間期 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日	第34期 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
売上高	3,736	11,147	13,521
売上原価	2,966	7,999	10,908
売上総利益	770	3,147	2,613
販売費及び一般管理費	1,909	2,743	4,150
営業利益	△1,139	404	△1,536
営業外収益	27	36	58
営業外費用	35	42	98
経常利益	△1,147	398	△1,576
特別利益	30	—	—
特別損失	60	108	63
税引前中間（当期）純利益	△1,177	289	△1,639
法人税、住民税及び事業税	5	7	14
中間（当期）純利益	△1,183	282	△1,654

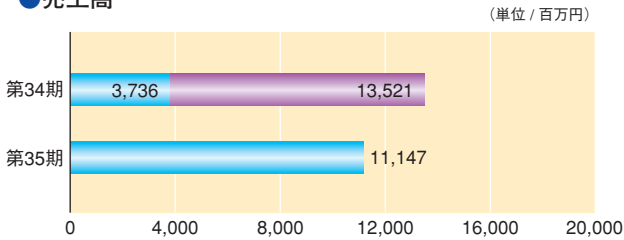
●中間キャッシュ・フロー計算書 (単位 / 百万円)

科 目	第34期中間期 自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日	第35期中間期 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日	第34期 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△501	3,487	△784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229	△257	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,107	△1,767	1,587
現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	△1,838	1,462	407
現金及び現金同等物の期首残高	4,540	4,947	4,540
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,701	6,410	4,947

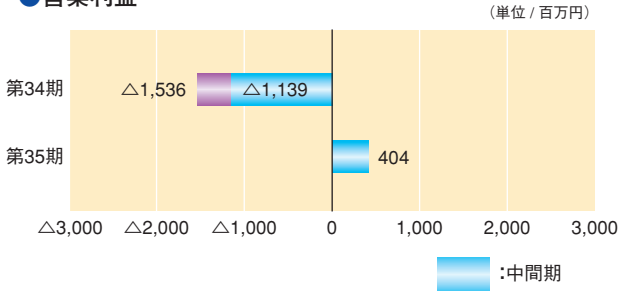
●中間株主資本等変動計算書
第35期中間期（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日） (単位 / 百万円)

	株主資本							評価・換算差額等	純 資 産 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評 価 差 額 金	
		資本準備金	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
平成19年3月31日残高	2,881	2,917	192	△782	△589	△1	5,207	108	5,315
中間期の変動額									
中間純利益				282	282		282		282
株主資本以外の項目の 中間期の変動額（純額）								△34	△34
中間期の変動額合計	－	－	－	282	282	－	282	△34	248
平成19年9月30日残高	2,881	2,917	192	△500	△307	△1	5,489	73	5,563

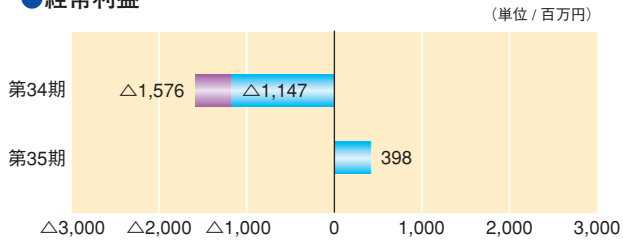
●売上高



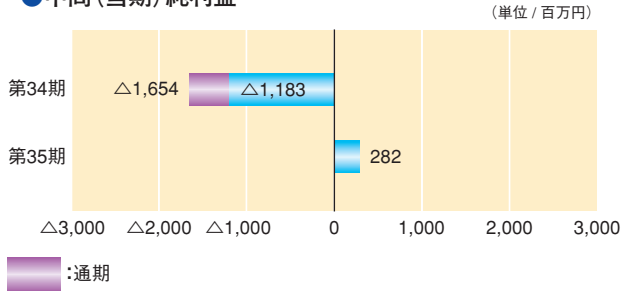
●営業利益



●経常利益



●中間(当期)純利益



CRハムナプトラ



プレス発表会：平成19年4月10日（火）
六本木オリベホール
納品開始日：平成19年5月20日（日）～

2001年初登場し、全米No.1を獲得した大ヒット映画の第二弾のストーリー、世界観はもちろん登場人物も充実のムービーにより忠実に再現。業界初仕様のゴールドバージョンは、通常確率97.7分の1で、大当たり継続率が82%となるかつてない驚異のスペックを実現。

パチスロ マーベルヒーローズ



プレス発表会：平成19年6月4日（月）
六本木オリベホール
納品開始日：平成19年7月8日（日）～

マーベルコミックスのヒーローたちがパチスロでも大活躍！様々な場面で出現する「X-gate」と呼ばれる図柄がゲームの展開を大きく左右する。ツインBB仕様に、2種類のRTを搭載。マーベルチャンスは、ゲーム数不定のミッションRT、スーパーマーベルチャンスは三択ベルを完全ナビゲートするゲーム減算タイプのART。ボーナス中の「X-gate」出現は激アツだ！

CRそれゆけエリちゃん



プレス発表会：平成19年7月17日（火）
六本木オリベホール
納品開始日：平成19年8月19日（日）～

あの伝説の名機「それゆけ浜ちゃん2」の遺伝子を継承し、ボーナスラッシュ突入時の継続率は驚異の90.46%！液晶搭載に負けない豊富な演出はもちろん、7セグならではの激アツアクションやなつかしの演出を多数搭載。

モバイルコンテンツオフィシャルサイト開設



名 称：タイヨーエレックチャンネル
提供キャリア：NTT DoCoMo
制 作・運 営：イトレックジャパン株式会社
サービス開始日：2007年6月18日
サービス内容
①当社大人気パチンコ機のiアプリが楽しめる！
「CRそれゆけエリちゃん」「CRガチンコ7」「CR五右衛門」
「CR大陸物語」「CRそれゆけ浜ちゃん」
②着モーションなど、他では絶対に手に入らないお宝画像満載！
③最新機種情報を完全先行配信

組織変更に関するお知らせ 平成19年6月28日

経営体制の強化を図るため、「経営企画室」を新設しました。

さいたま営業所開設のお知らせ 平成19年8月6日

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町4丁目241番地2 山崎第2ビル1階
TEL 048-631-0144 FAX 048-631-0145

北関東エリア（埼玉県・群馬県）の更なる営業強化・充実を図り、顧客開拓・サービスの向上を目指してまいります。



当社を取り巻く環境は、ホールの二極化により店舗数の減少傾向が続くなか、遊技機メーカー間の競争が更に激しくなると予想されます。このような状況のもと当社では、次の施策を柱とし事業改革に積極的に取り組むとともに、企業価値および株主価値の最大化に努力してまいります。

①研究開発活動の強化

当社は、「コーポレートブランドの確立」を目指し、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナリティおよび豊富な演出に重点を置いたクオリティの高い機種開発を積極的に推進してまいります。また、市場の動向やニーズに即応したスピードと機動力のある開発体制を更に強化することにより、開発期間を短縮化・効率化し、多様なバリエーションある企画開発を行い、パチンコ機・パチスロ機ともに年間発売機種数を安定的に市場投入してまいります。

②営業体制および顧客サービスの強化

当社は、競合他社の販売状況やホールからの製品評価等の情報を集約・分析し、研究開発本部および営業本部に迅速にフィードバックすることにより、きめ細かい市場ニーズに対応できる総合マーケティング戦略をさらに高度化し、強化してまいります。また、営業社員への研修教育を継続的に実施し、営業の質・レベルを向上させることにより顧客満足度をさらに高める差別化されたサービスを提供してまいります。

③内部統制システムの強化

当社は、業務の有効性・効率性を高め財務報告の信頼性を確保し、事業活動に関わる法令等の遵守を促進し資産の保全を図るため、内部統制システムを再構築してまいります。また、諸規程、諸制度を整備するとともに、リスク管理、コンプライアンス体制等の整備および充実により、経営体制の強化を目指してまいります。

④品質管理およびセキュリティの強化

当社は、品質・セキュリティに対する関心が高まるなか、開発における品質に対するセキュリティ基準、管理および設備に対するセキュリティ基準、さらに量産体制下における検査工程基準等のレベルを高めていくことにより、顧客の信頼と期待に応えるサービスを提供し、より一層の顧客満足度の向上を図ってまいります。

⑤安定的な収益基盤の強化

当社は、製品の企画開発、部材の調達、生産、営業にまでわたるコスト構造の見直しを行うとともに、取引先との協力体制を強化することにより、コストダウンに総力をあげて取り組んでまいります。

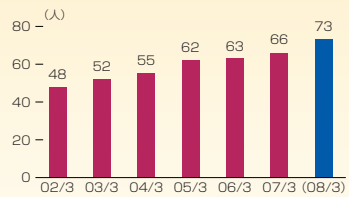
⑥財務体質の強化

当社は、資金の効率化や保有資産の見直し等により、有利子負債の削減に取り組むとともに、市場環境の変化に対応すべく将来の事業展開のための投資を具現化できる財務体質を目指してまいります。

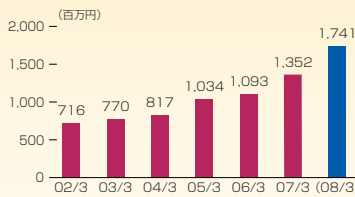
⑦人的資源の活性化

当社は、「企業は人なり」をモットーに、更なる人材育成を強化してまいります。コンプライアンス意識にくわえ、経営環境の変化に柔軟に対応できる次世代リーダーを育成するためのオリジナル研修プログラムにより、組織や個人の活性化を進めてまいります。

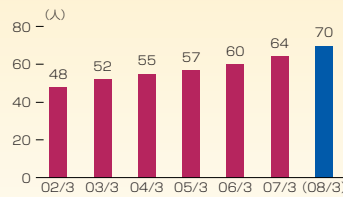
開発部門スタッフ数の推移



研究開発費の推移



営業スタッフ数の推移



サミー株式会社との事業提携の進捗に関するお知らせ

事業提携基本合意以降、遊技機の開発、生産および販売の各分野において提携内容の協議を行ってまいりましたが、このたび当社が開発を進めてまいりましたタイヨーエレクトリックブランドのパチスロ機「伝説の巫女」をサミー株式会社の全国販売網を通じて販売することを平成19年11月9日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせいたします。

今後もパチンコ・パチスロ遊技機業界ならびに両社の発展を目指し、両社の協力関係を強固なものへと進めてまいります。

●会社概要

平成19年9月30日現在

会社名	タイヨーエレック株式会社
本社所在地	〒452-0839 名古屋市西区見寄町125番地
設立	昭和48年7月11日
資本金	28億8,114万2,016円
事業内容	パチンコ機・パチスロ機の開発、製造、販売
従業員数	201名
主要取引先銀行	株式会社 第三銀行、株式会社 三菱東京UFJ銀行 株式会社 名古屋銀行、株式会社 三井住友銀行 株式会社 中京銀行、株式会社 十六銀行 中央三井信託銀行 株式会社
加入団体	日本遊技機工業組合

●役員

平成19年9月30日現在

代表取締役会長	佐藤昭治
代表取締役社長	佐藤英理子
専務取締役	古川恵子
常務取締役	三宅昇吾
取締役	加藤浩二
取締役	山本國昭
取締役	高橋真
常勤監査役	神田廣太郎
監査役	犬飼勲
監査役	古田五百三
正社員	池田俊治
執行役員	筒井憲雄
執行役員	納富真
執行役員	佐藤郎
執行役員	渡邊暢彦

●ネットワーク

平成19年9月30日現在

本社・本社工場	名古屋市西区見寄町125番地	TEL (052) 502-9222 (代)
札幌支店	札幌市東区北7条東3丁目28番32号	TEL (011) 753-2022 (代)
仙台支店	仙台市太白区泉崎2丁目25番15号	TEL (022) 743-2276 (代)
千葉支店	早川ビル1階 千葉市中央区中央1丁目7番8号	TEL (043) 201-3088 (代)
東京支店	シグマビル4階 東京都台東区東上野2丁目20番1号	TEL (03) 3833-0244 (代)
さいたま営業所	晴花ビル1階 さいたま市大宮区桜木町4丁目241番地2	TEL (048) 631-0144 (代)
横浜支店	山崎第2ビル1階 横浜市西区北幸1丁目5番4号	TEL (045) 317-4788 (代)
名古屋支店	三協ビル5階 名古屋市西区見寄町125番地	TEL (052) 506-2656 (代)
大阪支店	大阪市浪速区元町1丁目11番16号	TEL (06) 6633-7677 (代)
神戸営業所	ヴォンジョルノ難波1階 神戸市中央区磯辺通3丁目2番11号	TEL (078) 231-0051 (代)
福岡支店	三宮ファーストビル1階 福岡市博多区博多駅東3丁目4番10号	TEL (092) 437-5155 (代)



本社社屋

●株式データ

平成19年9月30日現在

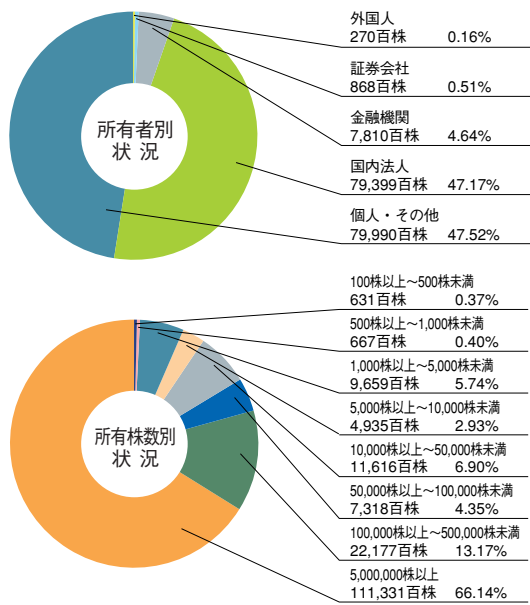
発行可能株式総数……………41,800,000株
発行済株式の総数……………16,833,748株
単元株式数……………100株
株主数……………1,188名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	百株	%
サミー株式会社	56,231	33.40
佐藤英理子	26,211	15.57
サンスピリット株式会社	18,500	10.98
佐藤昭治	10,389	6.17
佐藤麻奈美	4,640	2.75
三宅亜紀	3,500	2.07
佐藤照子	2,385	1.41
株式会社第三銀行	2,220	1.31
柏原俊高	2,098	1.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,500	0.89

(注) 1. 株式数は百株未満、出資比率は小数第2位未満を切り捨てて表示しております。
2. 旧株式会社サン・ラインは平成19年7月9日付にてサンスピリット株式会社に
商号変更いたしております。

●所有数別統計表



(注) 株式数は百株未満を切り捨てて表示しております。

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同取次所	中央三井信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		本店および全国各支店
株主確定基準日	期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合はあらかじめ 公告いたします。	公告の方法	日本証券代行株式会社 本店および全国各支店 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	単元株式数	100株
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 (〒460-8685) 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)		公告掲載アドレス (http://www.taiyoelec.co.jp/ir/koukoku/)

お知らせ 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル 0120-87-2031 で24時間受付しております。